

民話で振り返る3.11

講師：渡部 八重子さん

ふくしま民話茶屋の会 会長

日時 2022年7月23日(土)
13:30 ~ 15:00

場所 まちなか夢工房2階

参加費 500円

参加者 10名限定

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、直接参加人数を制限しますが、シャロームホームページユーチューブ (<http://nposhalom.net/>) より後日配信

＜講演内容＞

今回は民話を通して3.11(東日本大震災)を振り返ってみたいと思います。

私の語り部の原点は、会津の勝常村の囲炉裏でばあちゃんから桃太郎やかちかち山などのおとぎ話や村の川の淵や岩など残っていた伝説を父が聞かせてくれました。キツネやタヌキ、へびに例えて、人間のあるべき姿を次の世代に語り聞かせることで繋いでいたのでしょう。

会津には災害に関する民話がありました。これを語りつつ3.11を振り返ります。

プロフィール：渡部 八重子(わたなべ やえこ)さん

昭和11年、河沼郡湯川村(旧勝常村)生まれ。昭和32年大和農芸家政短大(現大和学園聖セシリア短大)卒業。昭和32年から平成8年までJA福島中央会に勤務。一貫して、農村女性の社会的経済的地位の向上と、農家・農村の生活福祉に取り組む。やがてはJAを超えて、「ふくしま市女性団体連絡協議会」の3代目会長を勤め、消費、健康、文化、政治と、多様な面から市全体での女性の地位向上に務める。

2001年に、「うつくしま福島未来博覧会」が開催された際、パビリオンの一つ「からくり民話茶屋」の語り部養成講座を受けることになり、「ふくしま民話茶屋の会」会長、語り部となる。

2001年、福島市観光課が「ふくしまの花とみ」をPRするために募集をした作文集に感銘を受け、「花見山案内実行委員会」を立ちあげる。以降花見山公園で案内人活動を実施。

申込書

いずれかに○をつけて、ご返信ください

出席 ・ 欠席

お名前

ご住所

電話番号

FAX

・7月21日(木)までにご返信いただければ幸いです。

＜お問い合わせ・FAX返信先＞

まちなか夢工房 福島市本町5-31

TEL: 024-524-2230 FAX: 024-525-8285